

おぬく愛人

「魅力があるからですヨ」

吉 永 洲 神

忘れもしない、平成二年九月十七日夜。三菱自動車吟道部の稽古を終えて東京駅での出来事である。中央線電車の入り口近くに座って、ひよいと後ろを見ると将棋の大山名人が、一人でホームを歩いて来られ私の座っている車両に乗って来られた。私は、すっと立ち上がり「大山先生ですね」と申し上げて席を一つ譲って「どうぞ」とお勧めした。

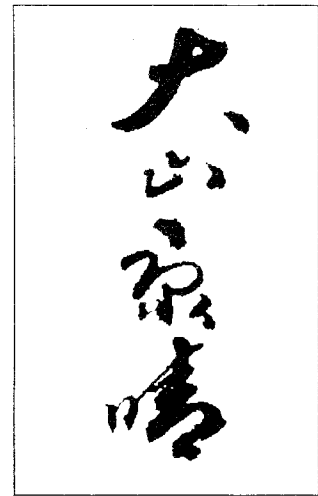
さあ、それから阿佐ヶ谷駅到着までの二十分間の物語である。二人並んで座りお話しをする機会に恵まれた。去る日、龍陽会長の父の葬儀に際し、当時、将棋連盟の理事長であられた大山名人は、わざわざお運び下さり焼香の上、香典、花輪まで頂戴した。「将棋連盟というところは実に丁寧なところだな」と感激したものである。その節のお礼を申し上げて、実は私の家内の妹が「米長邦雄」の連れ合いであります。ということをお告げたところ「はーそれは奇遇でしたね」と大山名人は仰せられた。

「先生、私は詩吟をやっておりますが、なかなか会員が増えません。将棋の世界は実に盛んですね。どうしてでしょうか」「一寸間をおいて「将棋は、魅力があるからですよ」といわれた。

その他、「江川選手（当時、＼がわる」という言葉が流行っていた）のあの行動は余りよくないですね」等々話題は尽きず、アツという間に阿佐ヶ谷駅に到着した。「又お会いしましょう。詩吟の世界頑張ってください。」のご挨拶を頂き「はいっ」と応えてお別れしたが、遂に二度とお会いすることなくこの世を去られた。大山名人もヤスハル、私もヤスハル。

ハテサテ。詩吟の世界を魅力あらしめるにはどうすべきか？種々考えた末、森総裁にこの事をお話し、相談の結果、吟道に魅力あるものの一環として、選抜による「吟士権制度」を作ろう。ということに相成った次第である。

一方で、各レコード会社のコンクールに「ん千円」払って参加する会員を呼び戻す効果もあるであろう。という期待も込められている。年々、吟士権選抜に対する認識は高まっている。本会でも十三年度、湊山牙龍・十四年度、菊田正龍のお二人が続けて吟士権者となられた。十五年度は、三十一名の方々が挑戦され、十五名が二次予選に進まれ、六名が決選に進まれた結果、新体詩の部で、有坂龍煌さんが見事二位と発表された。参加者四十四名のうち三十名が相寄り盛大な祝勝会が催された。（理事長）



大山名人に頂いた名刺
平成2年9月17日(月)
中央線電車内にて

会報 第三十二号

発行日 平成十五年十二月十日
編集人 南洲吟道会広報局
発行人 理事長 吉 永 洲 神
発行所 〒164-8688 東京都中野区白鷺二三四-五
日本吟道学院南洲吟道会
☎・FAX 〇三(三三三三〇)七〇〇九

本部だより

「創立三十周年記念吟道感謝の集い」の演し物について
11月24日の実行委員会で、概略次のとおり策定されました。

●男子の部

雅号	吟題	作者
龍	書懐(後編)	西郷南洲
祥	書懐(前編)	西郷南洲
城・水・洲・吟	城山	西郷南洲

●女子の部

雅号	吟題	作者
龍	龍虎	大野恵三 作詞 鈴木鶯風 作曲
祥	滴流	西郷南洲
城・水・洲・吟	偶感	西郷南洲

●合吟コンクール入賞チームの部(男女)メタル佩用のこと

賞	吟題	作者
金賞	山行同志に示す	草葉佩川
銀賞	富嶽	乃木希典
銅賞	九段の桜	本宮三香

●指導者独吟……十三名

●カラオケ吟詠()内は会名または教場名
北国の春(瑤洋)・赤蜻蛉(中町会)・旅愁(山内)・大漁吟(込み船橋湊)・古城(洲神会①)・花笠音頭(洲神会②)・五木の子守歌(鷺ノ宮)・名鎗日本号(船橋)・青の洞門(国分寺)・別詩(龍陽会②)・荒城の月(コロムビアテープ(白鷺)・同期の桜(八王子会)・知床旅情(若草)・故郷(あやめ・こたま)・武田節(三菱)・青葉の笛(座間会)・武蔵野を讀う(コロムビアテープ(若鷺)・人生の並木道(コロムビアテープ(いずみ会)・北上夜曲(コロムビアテープ(龍陽会①)・川(習志野会①②)・富士山(日高)・白虎隊(洲神)
未だ不確定要素がありますが、それぞれ練習を始めて下さい。
(実行委員会)

平成十五年度秋季昇段審査 結果報告

十月十二日(日)本会秋季昇段審査会が、中野区警宮地域センターに於て肅々と実施され、次のとおり審査決定されました。
また、千葉地区の審査会は、十一日(土)に船橋市市民文化ホールにて実施されました。

りて寒かった事、琵琶湖遊覧船も動いて居らずバスで比叡山に登った事など、昨日のように想い出すからです。

北海道からこちらへ来る迄、岳風流吟詠を四十八歳の時から教わりました。先生に必ず続けて行く様に言われてました。哀の世話をしておりましたので十年のブランクの後南洲吟道会にお世話になったのは昭和五十八年でした。寮生の結婚式にはよく頼まれて祝吟をいたしておりました。あれからもう二十年になります。

先日壮心吟道大会に出て皆頑張っておられる姿を見て、私も何時までも元気で詩を吟じていたいと思えました。

「母を奉じて嵐山に遊ぶ」を吟じた折、先日亡くなられた先生に「貴方のやっているのが本当の吟だよ。よく勉強したね」と思いもよらぬうれしいお言葉を頂き吟をやっているよかったです。私がお元氣な間は吟詠とは離れられないと思えます。ボケない為にも頭の中に詩を刻み込んで、舞台上はメモしたものは一切持って出ません。吟ずる以上はやっぱりそれ位の心意気がなければ駄目だと思います。

私は何時の日も編み物をやっています。「ボケない為にも」と毎日毎日私のそばから編み棒を離れたことはありません。私の元氣なうちは、毎月四回先生のお宅へ行っています。元氣であるよう祈って居ります。教室の皆様方にもお世話様になって居ります。

今後とも先生始め教場の皆様、よろしくお願い申し上げます。想い出すままに……。

全国大会コンクール出吟の思い出

座間会宮本教場 宮本 雅龍

山梨県都留市で行われた全国大会の、合吟コンクールに出吟させていただきました事はとても嬉しく、始めは練習を一生懸命していたら良いと思っておりましたがそもその間違いでした。五人が一つになる事の難しさ。

そのうちに、私が皆さんの足を引っ張るのではと気になり、悩み、どうしたらよいか一日も頭から離れることがなく、寝ても起きて声を出してみたり、家族達からは「パパ、どうかしたのでは？」などと聞かれました。足の痛みもピークの時でしたので階段の上り下りはカニのようにして練習にしました。

皆さんのお力もお借りして二位に入る事が出来ました。理事長・会長両先生にはたいへん良いケイコをして頂きました。この喜びと感動を記します。

悲しい時の涙は自然に出ますが、感動の涙は体が熱くなり胸がいつぱいになり、流れ出るものです。この涙の経験はまだコンクールに出た事のない方々に味わっていただきたいと思えます。良き仲間巡り合う事ができ、とても勉強させて頂きました事を心よりお礼申し上げます。音痴だった私をここ



カップを囲んで…左から内山・長友・宮本・安永・平松の各選手

まで引っ張って下さった岩井先生に感謝申し上げますとともに、これからも今まで以上に吟に力を入れて頑張りたいと心新たにしております。本当にありがとうございます。

詩歌投稿

川柳「雑詠」

座間会 吉田 希祥

芸道に妥協はないと壁が待ち

生き甲斐は趣味と欲かき二兎も追

好きなこと出来る余生を大事がり

母さんを立てて我が家は波立たず

身に覚えあつて笑えぬ他人のミス（入選作）

車椅子押す妻がいるコンサート

見ぬ振りの情けが悪を助長させ

人間が汚染源かも地球病む（入選作）

俳句

八王子会 中島 濃祥

老鶯の 一声さへて 峠かな

霧ちりて 浅間の噴煙 さまよへり

八十の 峠は嶮し 百合の花

平成十五年度夏季大学に参加して

中町会 伊集院 陽祥

毎年、諸先生の名講義を拝聴するのが楽しみで、参加しております。

今年も、期待に違わず有意義なお話を伺うことができました。なかでも、龍陽先生の和歌と吟詠との間の取り方、序詠と本詠との吟じ分けなど、要所要所を押さえた講義は分かりやすく、ためになりました。

また、常日頃、腹式発声法ができず悩んでいる私には、中西龍康先生の「心は腹にある」詩吟も体の中心であるお腹から声を出して吟じないと感動を与えるものにならない。頭で考えた吟や、心臓をドキドキさせての吟は感動を呼ぶ吟にはならない。「吟詠は、腹式呼吸と逆腹式呼吸の組合せからなる」などのお話は、大変参考になりました。

その他、森総裁の「吟を楽しんでいる者が一番の上達者だ」、小早川先生の漢詩吟詠の魅力という講義の中の「これからの吟詠は、漢詩吟詠とその他の詩歌の吟詠との相乗効果によって、より広汎な人々に詩吟の素晴らしさを普及していくことが重要な課題となる」など、良いお話がたくさんある楽しい会でした。

また、来年も是非参加したいと思えます。

ところで、毎回残念に思うことは、講師の先生方の持ち時間が短いことです。三人の先生の持ち時間を二人の先生で使えたら、もう少し余裕を持ってお話ししていただければ

